

ちば 県議会だより NO.138

党派別議員数	
自民党	55人
民主党	16人
公明党	7人
共産党	4人
市民ネット・社民・無所属	4人
みんなの党	3人
千葉維新の会・県民の声	2人
無所属の会	1人
開拓	1人
生活	1人
定数95人	現員94人
(平成25年4月13日現在)	

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

4月臨時県議会のあらまし



四月臨時県議会は、四月十二日に召集され、森田知事から二期目の就任にあたり、あいさつがありました。

その後、議案二件が上程され知事から提案理由説明があり、関係常任委員会開催後、各委員長から審査結果報告があり、採決の結果、原案のとおり可決・承認されました。

また、知事から、「副知事の選任同意」の議案が提案され、同意された後、閉会しました。

2月定例会県議会のあらまし

二月定例会県議会は、一月二十四日に召集され、二月二十二日までの三十日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十五年度千葉県一般会計予算等の議案七十四件、報告二件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

一月三十日の質問初日には、議員発議による「千葉県がん対策推進条例」及び「千葉県政務調査費の交付等に関する条例の一部を改正する条例」の二件が上程され、提出者の趣旨説明が行われました。

二月四日には、議案二件が追加上程され、知事から提案理由の説明がありました。

一月三十日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十三名の議員が登壇し、財政問題をはじめ

め、防災対策、福祉問題、雇用問題、農業問題等について活発な議論が展開されました。

さらに、二月八日、十二日及び十三日には予算委員会が開催されました。

各常任委員会は、二月十四日から四日間にわたり開催され、付託された議案・請願・発議案(がん対策推進条例)について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案等については原案のとおり可決・承認されました。

また、知事から人事案件十七件が追加上程され、採決の結果、原案のとおり同意されました。

その後、議員発議案(意見書等)二十四件のうち、十件を可決し、今定例会議会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。



市民ネット・社民・無所属
山本 友子 議員
(市原市)

- ▼平成二十五年度予算編成と知事の政治姿勢
- ▼特別な支援が必要な子どもの教育
- ▼外国人児童・生徒
- ▼自治体職員への雇用
- ▼女性と貧困、差別
- ▼残土・産廃問題

二月一日(金)



共産党
小松 実 議員
(千葉市花見川区)

- ▼知事の政治姿勢「村山談話」「河野談話」
- ▼地域経済の活性化
- ▼子どもの貧困
- ▼暮らしのセーフティネット
- ▼高齢者の暮らしの実態と医療・介護の負担
- ▼県民の暮らしを支えるための財源確保策



公明党
横山 秀明 議員
(八千代市)

- ▼知事の政治姿勢
- ▼医療・福祉問題
- ▼次世代自動車(EV・PHV車)の普及促進
- ▼教育問題
- ▼防犯力メーラ
- ▼東葉高速鉄道

一月三十一日(木)



民主党
石井 宏子 議員
(君津市)

- ▼少子・高齢化への対応
- ▼子どもの命を守るための取り組み
- ▼教育の充実
- ▼誰もが生き生きと働くことができる社会の構築
- ▼地域防災力の向上
- ▼インフラ等の老朽化対策



自民党
阿部 紘一 議員
(千葉市稲毛区)

- ▼知事の政治姿勢
- ▼財政問題
- ▼東日本大震災からの復旧・復興
- ▼医療・福祉問題
- ▼放射性物質対策
- ▼教育問題

一月三十日(水)

代表質問

※質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

児童・生徒表彰



開会日、会議に先立ち、千葉県議会児童・生徒表彰が行われました。

この表彰は、学芸及びスポーツの全国大会で最優秀の成績をおさめた県内の学校に在籍する児童・生徒(団体を含む)に贈られるもので、54人、26団体が表彰されました。(受賞者一覧を3面に掲載)



川名寛章議長から表彰状を授与

ちば県議会だより

代表質問から

財政

問 平成二十五年六月補正予算では、当初予算での留保財源を超える資金について、現段階でどのように確保する見通しなのか。

答 平成二十五年当初予算は骨格予算として編成しており、肉付け予算となる六月補正予算の規模及び財源は、その時点で判断する。

このため、骨格予算の段階では、一般財源として、地方交付税の一部や財政調整基金約三百二十億円を計上留保し、その他の財源として、事業の内容に応じ、国庫支出金や地方債などが活用できると考えていた。

平成二十五年の国の地方財政対策では、地方の一般財源の総額は確保されたものの、その内容は給与削減に伴う地方交付税の削減のほか、防災・減災事業や地域の元気づくりなどの取り組みが盛り込まれており、現時点では、各地方公共団体の財源にどのように影響するか不明である。

今後、国からの情報を踏まえ、六月補正予算の財源を、再度検討していく。

復旧・復興

問 東日本大震災からの復旧・復興に向けた取り組みの進捗状況について、県としてどのように評価しているのか。

答 県では、「千葉震災復旧及び復興に係る指針」を策定し、中長期的な視点で復旧・復興に取り

習にハンデを背負わせている事実について、どう考えるか。

また、経済的理由で教育・学習に格差が持ち込まれてはならないと思うがどうか。

組んでいる。現時点では、九七%の事業が概ね順調に実施されており、地域防災力の向上をはじめとした復興への取り組みは、着実に進められている。

しかし、県内では、依然として多くの人が不自由な生活を余儀なくされている。

今後、国の住宅再建支援策など、さまざまな施策を注視するとともに、国や市町村と連携しながら、すべての県民が震災前の生活を取り戻すまで、全力で復旧・復興に取り組んでいく。

在宅医療

問 在宅医療には、患者が住み慣れた地域での医療と介護の連携が必要と考えるが、どのように連携を進めていくのか。

答 現在改定中の保健医療計画では、市町村圏域を基本とし、在宅医療の提供体制の整備を進めることとしている。

県では、柏市をモデルフィールドに、医師・看護師・ケアマネジャー・市町村の看護職員など、多職種が連携し、お互いの専門性を生かし、チームとなって患者や家族をサポートできる在宅医療システムの構築を図っている。

また、地域において多職種連携のリーダーを育成する研修会を開催するなど、医療・介護の連携体制を進めていく。

子どもの貧困

問 貧困が子どもたちの教育・学

習にハンデを背負わせている事実について、どう考えるか。

また、経済的理由で教育・学習に格差が持ち込まれてはならないと思うがどうか。

経済的理由で進学を断念しようとする子どもたちの希望をかなえるため、生活保護世帯の子どもに対し、高等学校への進学時に、扶助費として就学に必要な経費が支給されるほか、県では、奨学資金や母子寡婦福祉資金の貸付による支援に取り組んでいる。

また、一部の市では、生活保護世帯の子どもたちを対象に、高等学校進学のための学習支援などの事業も行われている。

特別支援教育

問 就学前の障害者福祉サポートと、就学後の学校や教育委員会との連携の状況はどうか。

また、相互研修はなされているのか。

答 各学校では、幼稚園や保育園との引き継ぎを通して、市町村が行う言葉の教室や、発達支援センター等の就学前の支援状況を把握し、就学後の指導に生かしている。

県教育委員会では、平成二十四年度から、南房総市を指定して、早期からの保護者への相談体制の確立や、幼児から就学後までの一貫した支援・指導の研究を進めており、この成果の活用方法や相互研修については、今後、研究していく。

若者雇用

問 若者の失業率が高い状況について、どう考えているのか。また、県としてどのような対策に取り組んでいるのか。

若者の高い失業率が続くことは、本県産業界に影響があると懸念している。このため、県では安定した働く場の創出に向け、中小企業など県内産業の振興、企業誘致に積極的に取り組んできた。

また、「ジョブカフェちば」においては、引き続き若者の就労の促進を図るとともに、「新卒未就職者人材育成事業」を行うなど、若者の早期就業に向けた支援に努めていく。

農業振興

問 今後の農業振興について、どのように取り組んでいくのか。

県では、

- ① 農業者や関係団体が緊密に連携した、他県に負けない園芸産地づくり
- ② 魅力的な新品種の開発と普及や、生産性向上を図る土地改良施設等の維持・強化
- ③ 新たな販路拡大のため、県産農産物の国内外への魅力発信など、生産から流通、販売に至る施策を強力に推進していく。

今後、本県のポテンシャルを最大限に生かし、「力強い千葉農業」の実現を目指していく。

高速道路ネットワーク

問 県が引き続き発展していくために高速道路ネットワークの整備を急ぐべきと思うがどうか。

答 圏央道では、東金から木更津間において、この春の開通を目指し、最終段階となる舗装工事を進めており、県境から大栄間についても早期完成に向け、全面的に工事を実施している。

また、外環道は、平成二十七年

体罰防止

問 運動部活動における体罰防止に、どのように取り組んでいるのか。

答 県教育委員会では、指導者を対象とした各種研修会等、あらゆる機会をとらえ、体罰防止について繰り返し指導を行う。

今後、千葉県高等学校体育連盟等の関係団体とも連携を図りながら、体罰の根絶に努めていく。

移動交番車

問 移動交番車の今後の運用方針について、どのように検討しているのか。

答 移動交番車の活動は、犯罪多発地域等におけるパトロールや移動交番の開設など、県民の目に見える形で防犯力を強化している。

また、地域のさまざまなニーズに応える活動を推進し、「移動する地域安全センター」として定着してきた。

今後は、移動交番車の機動力を生かし、大規模なイベント会場における安全安心活動をはじめ、大規模災害発生時の災害対策車としての活用を図るなど、多様化する県民の要望に応える活動を展開していきたい。

可決・承認・同意された議案

二月定例会議

- 平成二十五年予算関係(二十四件)
- 一般会計(一件)
- 特別会計(十二件)
- 平成二十四年度補正予算関係(二十五件)
- 一般会計(二件)
- 特別会計(二十三件)
- 条例の制定(一件)
- 千葉県新型インフルエンザ等対策本部条例
- 条例の一部改正(二十一件)
- 職員の退職手当に関する条例等
- 特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例
- 千葉県職員定数条例
- 千葉県行政組織条例
- 千葉県県税条例
- 千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- 使用料及び手数料条例
- 千葉県自治体病院医師確保研修資金等貸付条例
- 千葉県地域自殺対策緊急強化基金条例
- 千葉県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金条例
- 千葉県妊婦健康診査支援基金条例
- 千葉県介護士盤緊急整備等臨時特例基金条例
- 千葉県消費者行政活性化基金条例
- 千葉県県民活動促進臨時特例基金条例
- 千葉県環境影響評価条例
- 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例
- 千葉県奨学資金貸付条例
- 千葉県学校職員定数条例
- 千葉県水道事業の設置等に関する条例
- 千葉県造成土地整理事業、土地造成整備事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例
- 千葉県病院事業の設置等に関する条例
- 条例の整理(一件)
- 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害福祉施策を講

するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

その他(二十一件)

- 契約の締結
- 市町村が負担すべき金額
- 包括外部監査契約の締結
- 専決処分承認
- 教育委員会委員の任命
- 公安委員会委員の任命
- 公害審査委員の任命(十五件)

議員提出

- 条例の制定(二件)
- 千葉県がん対策推進条例
- 条例の一部改正(二件)
- 千葉県政務調査費の交付等に関する条例
- 千葉県議会委員会条例
- 規則の一部改正(一件)
- 千葉県議会会議規則

四月臨時会議

- 条例の一部改正(一件)
- 千葉県水道事業給水条例等
- その他(二件)
- 専決処分の承認
- 副知事の選任同意

可決された決議・意見書

- 北朝鮮の核実験実施に抗議する決議
- JR京葉線の「平日朝の通勤時間帯の快速を全廃する」という3月に行われるダイヤ変更計画を改めることを求める意見書
- セアコクゲモ抗毒素血清の配備に関する意見書
- ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書
- 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書
- 配合飼料の価格高騰対策を求める意見書
- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質問題への速やかな対応を求める意見書

各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

被災者住宅再建支援金事業について、平成二十四年度は三十五億円の予算のうち、二三%に当たる八億千四百万円しか執行されていない。平成二十五年度当初予算では、十億円となっているが、減額理由は何か。

国の被災者生活再建支援制度において、新たに一部損壊による解体が認められたことなどから、本事業の平成二十五年度予算を縮小しても、液状化被害住宅支援への対応が可能と判断した。

総合企画水道常任委員会

栗山浄水場施設更新に係る計画策定予算の内容はどうか。

栗山浄水場は、施設や設備の老朽化が進み、運転管理も難しい状況になっているが、敷地も狹隘なため、本格的な耐震化や高度浄水処理の導入が困難である。今回の予算により、隣接するちば野菊の里浄水場への機能移転に向けた具体的な計画の策定に取り組みたい。

健康福祉常任委員会

高齢者の認知症がふえている中、県では、認知症疾患医療センターの設置に力を入れるとのことだが、どのような効果があるのか。

認知症疾患医療センターでは、認知症の原因疾患の特定や治療方針の提示等により、かかりつけ医の日常的な診療を支えるとともに、暴力等の激しい認知症の周辺症状や、一般病院での受け入れが困難な身体疾患への対応等を行うことで、認知症疾患患者の地域における生活維持の向上が図られるものと考えている。

環境生活警察常任委員会

東日本大震災後、信号機電源付加装置が整備されたが、現在の整備状況はどうか。

大震災時点では九十九基が整備済みであり、平成二十三年度末までに百二十九基を新たに整備した。

商工労働企業常任委員会

平成二十四年度は、当初予算で三十一基の整備に加え、今回の補正予算で六十基の整備を予定している。

いわゆる「アベノミクス」における三本の矢のひとつに、成長戦略があるが、これを踏まえた県の取り組みの方向性をどう考えているのか。

県としては、本県の特長であるコンピナートの活性化や中小企業の新たな連携促進を図っていくことが重要であると考えている。このため、国の成長戦略の内容を踏まえ、コンピナート地域の多様な産業集積、ベンチャー・中小企業との連携による活性化という点を、本県経済の将来性や産業の新たな方針として、新産業振興戦略の改訂も含め、検討していきたい。

農林水産常任委員会

耕作放棄地総合対策事業における機械整備支援の具体的な内容は何か。

耕作放棄地を活用して飼料用作物を栽培する場合、耕作放棄地の解消面積に応じて、作物の収穫やラッピング、稲ホールクロップサイレージなどのための機械の導入資金補助を行っている。具体的には、水田をヘクタール以上解消する場合、補助率は導入資金の三分の二以内となっている。

県土整備常任委員会

本県において、通学路の交通安全対策として道路整備を行う必要がある箇所は何箇所か。

また、そのうち平成二十四年度中に実施されるのは何箇所か。

県が道路管理者として対策を行う必要があるのは四百五十箇所であり、うち四百二十四箇所については、平成二十四年度中の完成を目指している。

文教常任委員会

県立学校の耐震化は、平成二十七年まで終了させるとのことだが、平成二十五年度末での耐震化率はどうか。

また、学校は修繕が必要な箇所が多く一般整備費の増額が必要と思うがどうか。

県立学校の耐震化率は、現在の整備計画では、平成二十五年度末で九一・四%程度と見込んでいる。なお、当面は、耐震改修を最優先としていくことから、老朽改修等を行う一般整備費は、それぞれの学校の状況に鑑み、その予算の枠内で、優先度の高いものから対応している。

平成25年6月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議予定時間
6月 5日(水)	開会 知事提案理由説明	午前10時
11日(火)	質疑並びに一般質問	//
12日(水)	//	//
13日(木)	//	//
14日(金)	//	//
17日(月)	//	//
18日(火)	//	//
20日(木)	予算委員会	午前10時30分
21日(金)	//	//
24日(月)	常任委員会(商工労働企業・県土整備)	午前10時
25日(火)	//(農林水産・文教)	//
26日(水)	//(総務防災・健康福祉)	//
27日(木)	//(総合企画水道・環境生活警察)	//
7月 2日(火)	委員長報告等 採決 閉会	午後1時

※本素案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会にて協議し最終決定します。開会日及び代表質問の生中継は「チバテレビ」で見ることができます。代表質問は、6月11日午前、午後、6月12日午前の予定です。

予算委員会



予算委員会(委員28名)が、2月8日、12日、13日の3日間にわたり開催され、平成25年度予算議案等について、横断的、多角的に審査するため、活発な議論が展開されました。

平成24年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(学芸部門)

個人	受賞者	受賞種別
市原市立姉崎小学校	遠山 晃大朗	図書館調査学習
流山市立南流山小学校	堀内 遙斗	暗算
茂原市立茂原小学校	遠山 千鶴	ポスター
袖ヶ浦市立蔵波中学校	坪井 比呂	図書館調査学習
千葉市立蘇我中学校	北村 瑠菜	暗算
流山市立東部中学校	田島 優衣	美術
市川市立下貝塚中学校	臼井 実彩	書道
千葉県立千葉中学校	山本 恭輔	弁論
我孫子市立久寺家中学校	細野 菜帆	詩
千葉市立朝日ヶ丘中学校 ※	渡邊 真歩	家庭科

団体	受賞団体	受賞種別
市川市立百合台小学校5年2組		学習新聞
柏市立酒井根西小学校		合奏
チューリップ		発明
柏市立酒井根中学校		合奏
千葉県立幕張総合高等学校		合唱
千葉県立幕張総合高等学校		合奏
柏市立柏高等学校		合奏
芝浦工業大学柏高等学校		ホームページ
船橋市立宮本小学校 ※		合奏
KURU-MIRA ※		ロボット

平成24年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(スポーツ部門)

個人	受賞者	受賞種別
八千代市立萱田小学校	宮本 愛弓	テニス
柏市立中原小学校	金澤 空大	レスリング
鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校	福丸 晴大	レスリング
野田市立木間ヶ瀬小学校	小沼 龍心	レスリング
我孫子市立我孫子第二小学校	太田 若那	レスリング
香取市立小見川中央小学校	細田 凜	カヌー
松戸市立八ヶ崎小学校	降雄 一颯	空手道
香取市立瑞穂小学校	高柴 優美	空手道
千葉市立小倉小学校	澤江 優月	空手道
千葉市立萱田小学校	三島 嶺	水泳競技
千葉市立萱田中学校	池澤 元太	空手道
松戸市立六実中学校	須崎 優衣	レスリング
八千代市立萱田中学校	宮本 大勢	テニス
八千代市立村上東中学校	岩井 真優	テニス
佐倉市立臼井南中学校	藤井 南帆	カヌー
千葉市立稲毛高等学校附属中学校	柏谷 大樹	ヨット
野田市立川間中学校	染谷 翔	陸上競技
流山市立南流山中学校	菊沢 絢	スポーツライミング
船橋市立法田中学校	谷川 翔	体操競技
千葉市立真砂中学校	皆川 夏穂	新体操
松戸市立栗ヶ沢中学校	黒岩 夏海	弓道
柏市立風早中学校	伊木 高博	水泳競技
佐倉市立臼井中学校	徳永 彩花	水泳競技
千葉市立土気南中学校	湯原 利佳	水泳競技
市原市立八幡中学校	萩原 菜奈	水泳競技
船橋市立御滝中学校	吉田 有伯	陸上競技
銚子市立第五中学校	宮崎 佑喜	陸上競技
船橋市立船橋高等学校	前田 恋弥	陸上競技
東海大学付属浦安高等学校	ベイカー 茉秋	柔道
船橋市立船橋高等学校	早坂 尚人	体操競技
船橋市立船橋高等学校	鈴木 大介	体操競技
習志野市立習志野高等学校	早坂 航太	体操競技
日出学園高等学校	荒谷 友碩	太極拳
専修大学松戸高等学校	一ノ宮 翔	陸上競技
千葉県立土気高等学校	吉田 真也	銃剣道
敬愛学園高等学校	板鼻 航平	陸上競技
柏市立日高高等学校	毛呂 泰紘	陸上競技
千葉県立茂原樟陽高等学校	青山 敬志	ライフル射撃
市川高等学校	樋口 恵夢	水泳競技
千葉商科大学付属高等学校	平井 健太	水泳競技
成田高等学校	山中 祥輝	水泳競技
千葉商科大学付属高等学校	松元 克央	水泳競技
習志野市立習志野高等学校	齋藤 奨司	ボクシング
千葉県立千葉東高等学校	清水 友紀	陸上競技
千葉県立千葉聾学校高等部	椋田 愛梨	卓球
千葉県立佐倉西高等学校 ※	柴崎 洋一郎	ライフル射撃

団体	受賞団体	受賞種別
日本空手協会君津支部		空手道
ダンススタジオみやおか		ダンス
船橋陸上クラブ		陸上競技
日本空手協会千葉県本部		空手道
市原市立ちはら台南中学校		陸上競技
東京学館浦安中学校		テニス
松戸市立第六中学校		弓道
千葉マリーンズ		野球
東海大学付属浦安高等学校		柔道
志学館高等部		少林寺拳法
千葉県立成田国際高等学校		少林寺拳法
柏レイソルU-18		サッカー
千葉商科大学付属高等学校		水泳競技
船橋市立船橋高等学校体操クラブ		体操競技
千葉県代表少年女子山岳チーム		山岳競技
千葉県代表少年馬術チーム		馬術競技
千葉県代表少年男子柔道チーム		柔道
千葉県立千葉聾学校		卓球
千葉県立佐倉西高等学校 ※		ライフル射撃

※3月26日に新たに2個人・3団体が表彰されました。

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

二月一日(金)



民主党
横堀 喜一郎 議員
(茂原市)

- 災害時の医療
- 道路整備
- 茂原にはる工業団地
- 河川整備



自民党
木村 哲也 議員
(船橋市)

- 千葉県の経済対策
- 旅券事務
- 教育行政
- 道路行政



自民党
伊藤 勲 議員
(富里市)

- 富里特別支援学校、通学路の歩道整備
- 千葉県農業算出額の後退
- 穀物自給率向上対策
- 北総中央用水事業

二月四日(月)



自民党
木下 敬二 議員
(南房総市・安房郡)

- 防災・減災対策
- 道路問題
- 水産問題
- 自治体職員の駆け込み退職



民主党
湯浅 和子 議員
(松戸市)

- 男女共同参画
- 指定廃棄物対策
- 水循環基本計画
- 子ども・被災者支援法



自民党
鈴木 衛 議員
(市川市)

- 東京外かく環状道路
- 三番瀬再生
- 旅券事務
- 特定優良賃貸住宅



生活
大川 忠夫 議員
(千葉市花見川区)

- 地盤沈下
- 幕張インターナショナルスクール
- 発達障害やその可能性のある子への対応
- ストーカー・DV対策



自民党
本清 秀雄 議員
(松戸市)

- 地域防災力の向上
- 学校における救命胴衣の常備
- 津波に対する施設整備
- 銚子漁港の整備

二月五日(火)



自民党
皆川 輝夫 議員
(鎌ヶ谷市)

- 梨生産支援
- 障害者問題
- 高齢者問題
- 大柏川第二調節池



公明党
阿部 俊昭 議員
(柏市)

- 教育行政と学校現場との人事交流
- 福祉介護マークの普及とチーパスの他県連携
- 県有施設のネーミングライツ・広告の推進
- 放射性物質を含むごみ焼却灰の一時保管場所



みんなの党
川井 友則 議員
(松戸市)

- 知事の政治姿勢
- 介護給付の適正化
- 東南アジア戦略
- 青少年相談員制度



自民党
小池 正昭 議員
(成田市)

- 成田国際空港
- 住宅政策
- 高齢者福祉
- 農業問題



自民党
木名瀬 捷司 議員
(野田市)

- 介護保険
- コウノトリと共生する地域づくり
- 道路の整備
- 信号機の設置

二月六日(水)



自民党
瀧田 敏幸 議員
(印西市)

- 指定廃棄物の処分問題

- 千葉ニュータウン事業
- 道路問題(舟戸大橋架け換え事業)



民主党
岩井 泰憲 議員
(印旛郡)

- 栄町安食の急傾斜地崩壊対策
- 駐車監視員制度
- 視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)の適正設置
- 地域の道路問題



自民党
山本 義一 議員
(八街市)

- 県営住宅
- 水道行政

- 防災対策
- 福祉行政



自民党
伊藤 和男 議員
(香取市)

- 医療問題
- 環境問題
- 空港騒音対策
- 農業問題



自民党
白井 正一 議員
(千葉市美浜区)

- 障害者スポーツ
- 喫煙
- 県営住宅における外国人問題
- マンシヨンの建替え支援

「千葉県がん対策推進条例」を可決

2月定例県議会において、議員提案による「千葉県がん対策推進条例」が賛成多数で可決されました。

この条例は、誰もが罹患する可能性を持ち、県民の病死の最大原因である「がん」に対し、県の責務や県民の役割等を明らかにしたものです。がんを知り、予防と早期発見に努め、がんになっても良質で適切ながん医療や支援を受けられるよう、がんに関する教育や小児がん対策、在宅医療、緩和ケアなど、がん対策の基本的な事項を定め、がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。



谷田部 勝男議員逝去

谷田部勝男議員(香取市選出・自民党)が平成二十五年四月十二日に逝去されました。同議員は、平成十五年十二月以来連続三期、九年余にわたり、千葉県議会議員として県政の発展に貢献され、その間、健康福祉常任委員会委員長、総務常任委員会副委員長など要職を歴任されました。

り組むべき施策をとりまとめ、なるべく早い時期に県議会に提案できるよう、作業を進めていきます。あわせて、徹底した業務の効率化やコストの削減、建設地方債の残高の縮減など、県庁全体のポテンシャルを最大化するための行財政改革に係る計画の策定にも取り組んでいきます。今後とも、県民・市町村の皆様との「チームスピリット」のもと、全身全霊を捧げて県政運営に取り組んでいく所存です。

また、がん対策として千葉県がんセンターでは、ワンストップで対応する相談体制を確保するとともに、がん診療連携拠点病院の放射線治療機器の整備に対し助成します。

さらに、認知症対策として、認知症疾患医療センターでの専門的な医療相談や医療関係者への研修を行うとともに、障害者自立促進のため、障害者就業・生活支援センターにおいて、生活面と就業面等を一体的に支援します。

◎「雇用・産業・基盤整備」
「ジョブカフェちば」や「ジョブサポートセンター」では、若者や中高年、子育て中の女性に対する就労支援や離職者の再就職を支援します。

また、観光客誘致のため、トイレ改修などへの助成や、有料道路無料通行券の活用事業、サイクルツーリズムの拡大・定着への取り組みを支援します。

さらに、園芸農業の生産力拡大のため施設整備への助成や、耕作放棄地の解消への取り組みを支援します。

このほか、東京湾アクアラインの料金引下げ社会実験を引き続き実施するとともに、東葉高速鉄道、北総鉄道、いすみ鉄道に対する支援を行います。

◎「東日本大震災への対応」
応急仮設住宅の入居期間と、被災者住宅再建支援金の申請期間を、1年間延長するなど、被災者への支援を引き続き行います。

また、放射性物質対策として、空間、河川等での測定や農林水産物の検査を継続し、シイタケなどの出荷制限の早期解除に向けて取り組みます。

その他、「国際・文化・環境」に関する事業や「子どもの育成」などについて説明がありました。

また、平成24年度2月補正予算や条例の制定等の議案についての説明や、「東日本大震災からの復旧・復興に向けた取り組み状況」についての報告がありました。

4月臨時県議会 知事あいさつ

先の知事選挙において、多くの県民の皆様から御支持をいただき、引き続き、知事として県政を担うこととなりました。誠に光栄に存じますとともに、県民の皆様から寄せられた期待と、私に課せられた使命と責任の重さに身の引き締まる思いです。選挙中にいただいた県民の皆様からの多種多様な御意見を十分踏まえ、今後4年間で重点的に取

2月定例県議会 知事あいさつ

平成25年度当初予算は、3月に知事選挙を控えていることから、「骨格予算」として編成いたしました。このため、義務的な経費のほか、安全・安心、医療・福祉などの継続事業や東日本大震災からの復旧・復興事業など、県民生活に必要な事業の一部または全部を計上した結果、一般会計の当初予算規模は、前年度と比べ7.7%減の1兆4,767億5,800万余円となりました。

なお、政策的な判断を要する経費や新規事業については、「肉付け予算」として、6月補正予算で対応する予定です。

また、平成25年度の年間収支見込みについては、大変厳しい財政状況となりました。このため、当初予算においては、徹底した見直しを行う一方、退職手当債や基金を活用して、必要な財源を確保しました。

一 主な事業の概要

◎「安全・安心」

移動交番車の配備については、平成22年3月の配備以降、毎年増強し、本年4月には、全県下でAEDを搭載した移動交番車50台、専従警察官100人、移動交番相談員50人の体制で、引き続き、地域住民の安全・安心を確保します。

また、「振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター」による電話での防犯指導の実施や市町村が行う防犯カメラの設置事業に対し助成します。

さらに、平成27年度の完了を目指し、県立学校の耐震化を進め、私立学校の耐震化についても助成を行います。

◎「医療・福祉・健康」

国の交付金により造成した基金を活用し、地域医療総合支援センターや救命救急センターの整備への助成や、東千葉メディカルセンターの支援を行い、地域の医療再生を促進します。